



「ベエズ」

みなとしみず

発行

国土交通省中部地方整備局
清水港湾事務所
御前崎事務所/下田港事務所/田子の浦港事務所
静岡市清水区日の出町7番2号
TEL. 054-352-4146 (代表)
<http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>

《目次》

- 熱海港渚地区第三工区及び渚小公園完成式典開催 (1)
- 「風向き」 清水港湾事務所長 奥田 薫 (1)
- 平成21年度 清水港湾事務所事業概要 (2)(3)
- ～砂は東にしらすは西に～ 田子の浦漁協 外山組合長さんにお話を聞きました (4)
- 外国クルーズ客船「クリスタルセレンティ」が清水港に入港しました (4)
- 《お知らせ》清水港に「ハンセアティック」「飛鳥Ⅱ」がやってくる! (4)

熱海港海岸環境整備事業渚地区第三工区及び まちづくり交付金事業(熱海中央地区)渚小公園完成式典 開催

熱海港渚地区第三工区の傾斜式堤防、並びに、熱海中央地区の渚小公園、ペDESTリアンデッキ(歩道橋)が完成し、平成21年4月24日に完成式典が開催されました。

熱海港渚地区では、国・県・市により、海岸線の護岸と景観の整備が進められており、これまでに、デッキ(傾斜式堤防)やサンビーチ(人工海岸)、ムーンテラス(突堤)などが完成しており、熱海市民や観光客に利用されています。

式典では、渚小公園ペDESTリアンデッキのテープカットに続き、前熱海市市長である川口市雄様の親子三代による歩道橋の渡り初めが行われました。その後、倉田雅年総務副大臣をはじめご来賓の方々からのご祝辞の後、第三工区完成くす玉が割られ、本施設の完成を祝いました。

地元の方からは、「海沿いのデッキにある広いスペースにお店が出るといいね。」とのお話をお伺いすることができました。

新たにオープンしたこれらの施設はバリアフリーになっており、人に優しくやすらぎを与えてくれるウォーターフロントがまたひとつ増えました。



倉田雅年総務副大臣、富田英治中部地方整備局副局長らによる、渚第三工区完成くす玉割り



ペDESTリアンデッキから海岸線への通路には、スロープが整備されています。(写真中央)

「風向き」

清水港湾事務所長 奥田 薫

「港湾」というと、「経済活力源である産業物流、或いは、生活物資輸送の結接拠点という基盤的な役割を担っています。」と、つついお堅い説明をさせていただきますが、国民一般的には馴染みの薄い部分でしょう。

一方、「みなとまち」というとぐっと身近なイメージになるのではないのでしょうか。生活、休日、憩い、賑わい、観光、娯楽などの日々の出来事に関するキーワードが直結するような海辺空間も、みなとにはあります。

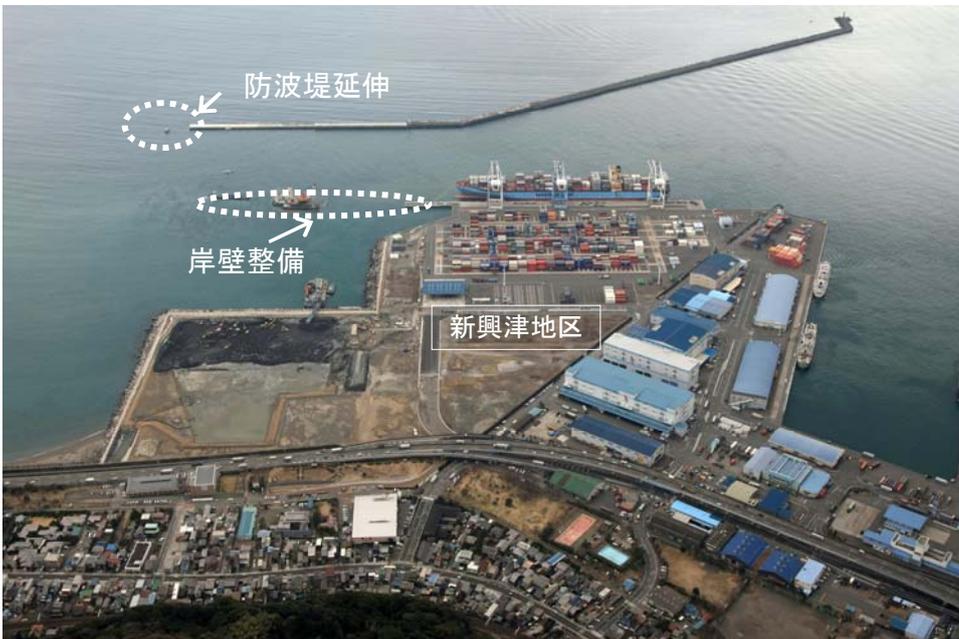
地方が自らの創意と工夫で、地域の特性を活かし、活力ある地域づくりができるように行政の仕組みを変えようというのが最近の「風向き」、地方分権の考え方です。

国土交通省としても地方の自主性を尊重した制度運用に取り組んでおり、みなとについては「みなと振興交付金」や「みなとオアシス」といった制度を運用しています。内容は別途ご紹介しますが、こういった制度を個性ある地域づくりに役立てただけのよう、運用改善も念頭に置きながら地域の皆様と対話していきたいと考えています。

平成21年度 清水港湾事務所事業概要

清水港

新興津地区コンテナターミナル（水深15m）第2バース関連施設整備、
および、日の出地区岸壁改良：約36億円



← 新興津地区

現在供用の新興津CT（第一バース）の東隣に、平成20年度より新たな岸壁（第2バース：水深15m、延長350m）を整備しております。

今年度は、岸壁（水深15m）（耐震）及び防波堤の整備を継続します。

東海地震の際にも利用可能な耐震強化岸壁として整備され、日常・災害時を問わず、周辺地域における幹線輸送の核となる施設になります。

日の出地区→

日の出岸壁は、平成元年に耐震強化岸壁に改良され、一般貨物船のほかフェリーや大型客船が利用しています。

しかし、岸壁の一部に老朽化による欠損等が確認され、早急な補修が必要となり、平成18年度より老朽化した岸壁の改良を行い、公共埠頭の施設の延命化を図っています。

現在の利用に支障をきたすことがないよう工程等に工夫をしながら事業を進めています。



御前崎港

港内の静穏度確保のための防波堤整備：約7億円



← ^{めいわ}女岩地区

自動車輸出の活発化で、今後ますます入出港船舶の増加が予想され、より一層の利用性や安全性の確保が必要となることから、港内静穏度を高めるため防波堤整備を推進していきます。

静穏度が低いと…

波の影響により、荷役中の船体が揺れ、非常に危険です。

田子の浦港

多目的国際ターミナル（水深15m）関連施設整備：23.5億円



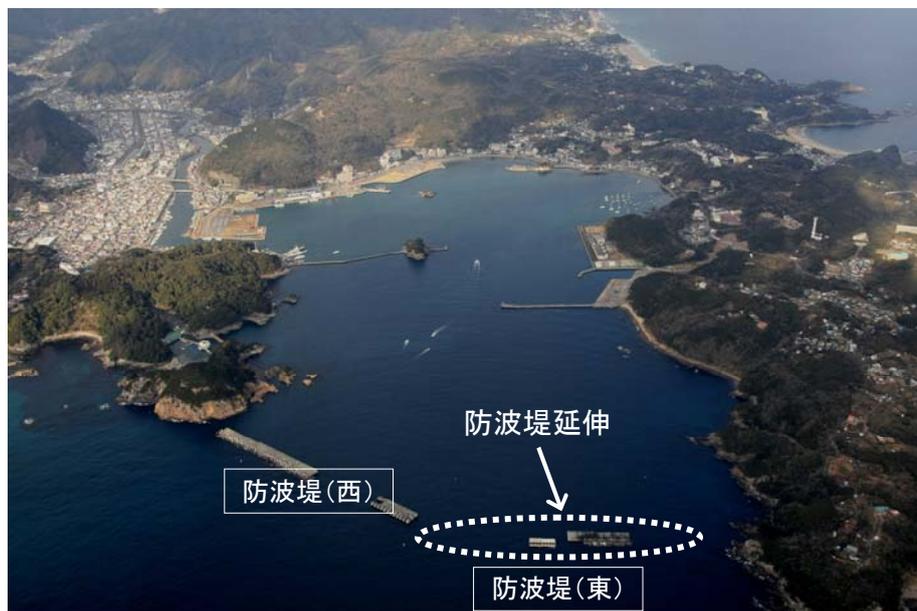
←中央地区

入出港船舶の大型化に対応するため、水深12mの中央地区岸壁と航路及び泊地の整備を引き続き推進します。

本岸壁は、東海地震の際にも利用可能な耐震強化岸壁として整備され、日常における物流の核となる施設であると同時に、災害時における緊急物資輸送にも利用されます。

下田港

船舶の避泊面積拡大及び津波防護のための防波堤整備：約12億円



←下田地区

昭和60年より荒天時における避難船のための水域確保及び津波対策としての機能を兼ねた防波堤を湾口部において整備を進めています。

防波堤の計画地点は最深部で水深42mと国内有数の大水深であり、かつ海象条件が厳しいという特徴があります。

現在の防波堤整備状況は、防波堤（西）500mのうち仮航路（幅150m）を除く350mが暫定完成し、防波堤（東）400mのうち150mが暫定完成しています。

今年度も引き続き防波堤整備を推進します。

- 事業費 4港事業費計 約79億円
(前年度比 1.06倍)
- 基本方針 国際競争力の強化、地域の活性化、安全・安心の確保
- 実施方針 効率的な事業の実施、業務の多様化高度化への対応、安全管理の徹底



(2)(3)ページの写真は、全て、平成21年2月2日に撮影したものです。

～田子の浦漁協～ 外山組合長さんにお話を聞きました

「砂は東にしらすは西に」

田子の浦港内には漁港区があり、そこで水揚げされる”しらす”は知る人ぞ知る田子の浦の名産品です。田子の浦漁業協同組合の外山廣文組合長さんから、しらす漁にまつわる、おもしろいお話を伺いましたので、前号に引き続き、ご紹介します。

【年中しらすは生まれている】

しらすは、黒潮の中で、年がら年中、次から次へと生まれている。だから、黒潮の中には、小さなしらすの群れや大きなしらすの群れ、成長してイワシとなった群れが同時にいるんだよ。だから、秋などに少し大きなしらすを売り出すと、「春にはあんなに小さかったのが、ここまで育ったんだな」と言っている人がいるけど、それは違うんだな。

【ふぞろいのしらす達】

しらすの群れには、大きなものや小さなものが混じっており、そのままでは商品にならない。そこで、しらす漁の網を二重にして、内側の網で大きなものを除き、内側の網目を通り抜けて外側の網で獲れたしらすを商品にしているんだよ。



【しらす漁には禁漁期間があるんだよ】

しらす漁は、1月の中旬から約2ヶ月間の禁漁に入る。しらす漁の禁漁期間を定めているのは全国でも静岡県だけ。

外国クルーズ客船「クリスタルセレニティ」が清水港に入港しました

4月15日に、豪華客船「クリスタルセレニティ」が、約5年ぶりに清水港に入港しました。

盛大に行われた歓迎セレモニーでは、地元の小学生達による元気いっぱいの「キッズソーラン」が披露され、乗客等に大変喜ばれていました。

今回のクリスタルセレニティを始めとした数々の客船等の寄港は、清水港客船誘致委員会（会長 望月薫氏）が海外客船ポートセールスなどの熱心な誘致活動を重ねた成果であり、今後もハンセアティックやプレーメン、日本丸・海王丸、飛鳥Ⅱなど、続々と寄港が予定されています。

客船や帆船が入港する度に、園児から大人まで多くの方が訪れ、賑わいます。港ならではの光景ですね。

- 総トン数: 68,870トン
- 全長: 250m ● 全幅: 32.2m
- 航海速度: 最高22ノット
- ※ 就航: 2003年7月



お知らせ 清水港にクルーズ客船がやってくる!

外国クルーズ客船「ハンセアティック」 クルーズ客船「飛鳥Ⅱ」

- 入港日時: 平成21年6月22日(月) 10:00
- 入港場所: 清水港日の出ふ頭
- 出港日時: 平成21年6月22日(月) 20:00

- 入港日時: 平成21年12月17日(木) 8:00
- 入港場所: 清水港日の出ふ頭
- 出港日時: 平成21年12月17日(木) 17:00

★清水港には、平成19年10月以来、2回目の入港となります。



H19.10 撮影

「ハンセアティック」のお問い合わせ先は「飛鳥Ⅱ」

清水港客船誘致委員会 事務局 静岡市清水港振興課
Tel 054-354-2432 HP <http://www.shimizu-port.jp>

※ 予定は変更される可能性がありますので、ご注意ください。



海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル
おーいに よくなれ みなと
0120-497-370

受付時間: 9時30分~12時, 13時~17時(土・日、祝祭日は除く)
☆ 携帯電話・PHSからもご利用できます ☆

- ・海やみなとの利用に関すること
- ・総合的な学習時間に関すること
- ・みなとの構想や計画に関すること
- ・海洋土木技術に関すること
- ・みなとの防災に関すること

その他、海とみなとに関することは何でもお問い合わせください

■ 本紙に関するお問い合わせ先 ■
清水港湾事務所 企画調整課
太田・屋敷

Tel 054-352-4148

e-mail

shimizukouwan@pa.cbr.mlit.go.jp

